

平成29年度 初修外国語(独語・仏語・中国語・韓国語)

再受講についてのルール

例年通り、平成 29 年度（2017 年度）についても、初修外国語の再受講についてはルールに則って手続きを行うことが求められます。平成 26 年度から、基礎教育科目・共通教育科目の履修には大幅な変更が加えられていますので、以下のルールを熟読し、誤解、手続き間違いなどがないようにしてください。

自分がどれにあてはまるのかが不明な場合も含め、質問や相談等がある場合には、自分で判断せず、できるだけ早く、基礎教育・教育企画室（教育学部棟 1 階渡り廊下・自動販売機横）に聞きに行くこと。

★以下、「再受講クラス」とは、前期にのみ、火曜日 9 - 10 限に開講されるクラスを指します。

【再受講生全員が最も注意すべきこと】

●決められた期間中に、再受講予定のクラスの受講登録は済ませておくこと。但し、受講が確定するのは 4 月以降です。

●授業は 4 月 7 日（金）から始まります。7 日（金）以降、受講予定のクラスの授業に必ず出席すること。

●受講予定のクラス以外に、今年度に再受講を希望する学生は全員、4 月 11 日（火）9 - 10 限に開講される「再受講クラス」第 1 回目の授業に必ず出席すること。出席しなかった場合、今年度の再受講ができなくなることもあるので、注意してください。

●例年、5 月の受講科目登録確認修正期間中に確認や修正ができず、科目を受講できなくなる学生がいます。4 月以降に欠席が続き、授業時に連絡ができなかった場合の履修不可などは自己責任です。くれぐれも注意すること。

★基本的には、いずれの学部・学年の学生も履修する言語を自由に選択、変更できることになっていますが、すでに取得済みの単位がある学生は、残る単位も同じ言語で登録・履修して下さい。

★開講後、クラスの受講生数を見て、他言語に移動してもらう場合もあります。

<新カリキュラムの学生> …平成 26~28 年度入学生（平成 28・29 年度の編入学生も含む）

○農学部・工学部・医学部・地域資源創成学部

必ず、「再受講クラス」（前期火曜日 9 - 10 限）を登録し、受講すること。

○教育文化学部

必ず、「再受講クラス」（前期火曜日 9 - 10 限）を登録し、受講すること。

※E1・E2 の単位をどちらも未取得の学生は「再受講クラス」に加え、後期の E2 を受講してください。E1・E2 のどちらかの単位を取得している学生は、単位取得済みの言語と同じ言語の授業を履修すること。

＜旧カリキュラムの学生＞ …平成 25 年度以前の入学生（平成 27 年度以前の編入学生も含む）

○教育文化学部生・工学部生、H21 年度以前に入学した農学部生…4 単位必要

※旧カリキュラムの学生の場合、半期週 1 回の 1 科目を 1 単位とみなします。異なる言語で 4 単位を取得しても卒業要件は満たしません。注意すること。

【ケース 1】 2 単位（半期週 1 回の 1 科目を 1 単位とする）必要な学生（旧カリキュラムで通年週 1 回〔2 単位〕を取得済み）

前期火曜日 9 - 10 限に「再受講クラス」が開講されますので、必ずそのクラスを登録し、受講すること。残る 1 単位分は、後期に自分の時間割に合う科目を一つ履修すること。

【ケース 2】 4 単位（半期週 1 回の 1 科目を 1 単位とする）必要な学生（まだ単位を全く取得できていない学生）

通年で週 2 回履修する必要があります。同一言語を履修すること。

〈前期〉 2 単位分を履修

① 1 単位は、必ず「再受講クラス」（前期のみ火曜日 9 - 10 限）

② 1 単位は、次の科目の中から、自分の時間割に合うものを一つ選び、履修する。

T…月曜日 3 - 4 限

E1・R…火曜日 3 - 4 限

A…木曜日 3 - 4 限

MN…木曜日 5 - 6 限

〈後期〉 2 単位分を履修

③ 2 単位は、次の科目の中から、自分の時間割に合うものを 2 つ選び、履修する。開講時間が異なっても、同一科目名の授業を 2 つ履修することはできない。

E2…火曜日 3 - 4 限

総合〇〇語 I …開講時間帯は、言語によって異なる。

実践〇〇語 I …開講時間帯は、言語によって異なる。

※注意

「検定〇〇語 I」ですでに単位を取得済みの学生は、「実践〇〇語 I」を受講しても単位は認められません。「検定〇〇語 I」の単位を未習得で、「実践〇〇語 I」を受講して合格した学生には、各自の入学年度に応じて必要な科目名に読み替えて単位が出されます。

○医学部生・H22 年度以後に入学した農学部生…2 単位（半期週 1 回の 1 科目を 1 単位とする）

前期火曜日 9 - 10 限に「再受講クラス」が開講されますので、必ずそのクラスを登録し、受講すること。残る 1 単位分は、後期に自分の時間割に合う科目を一つ履修すること。

学部・学年によって、卒業に必要な単位数が異なります。

次ページの言語別の注意もしっかり読んで間違いのないようにして下さい。

自分がどれにあてはまるのかが不明な場合も含め、質問や相談等がある場合には、自分で判断せず、できるだけ早く、基礎教育・教育企画室（教育学部棟 1 階渡り廊下・自動販売機横）に聞きに行くこと。

言語別の注意

●独 語

「再受講クラス」を受講した上で、各自の不足単位に応じて他のクラスも履修すること。

●仏 語

各自の不足単位に応じて「再受講クラス」と更に他のクラスを履修することになるが、該当者が少数でその他のフランス語科目の履修で単位取得できる場合、「再受講クラス」そのものを開講しない可能性があります。いずれにせよ、4月11日（火）9 - 10限の授業に必ず出席すること。

●中国語

「再受講クラス」を登録した上で、各自の不足単位に応じて他のクラスも履修すること。

*4月11日（火）9 - 10限の「再受講クラス」第1回目の授業に出席することはもちろんだが、4月10日（月）3 - 4限や、11日（火）3 - 4限が第1回目となる授業もあるので、必要な場合には、これらの授業の第1回目にも必ず出席すること。

*前期にT、Aの履修を希望する場合、クラスは(1)を登録すること。その後、人数の調整の結果、(2)への移動もあります。その場合は、5月の科目登録確認修正期間に自分で修正をしてもらいます。授業内で連絡しますが、欠席などで連絡できない場合は自己責任で変更して下さい。

●韓国語

旧カリキュラムの学生で【ケース2】の場合は、前期火曜日9 - 10限の「韓国語（再）」及び、もう1科目は、前期は韓国語T、E1、A、MNのどれか、後期は韓国語E2、総合韓国語I、実践韓国語Iのうちのどれか2つを受講してください。問い合わせは金教員（教育棟437、jkim@cc.miyazaki-u.ac.jp）まで。

自分がどれにあてはまるのかが不明な場合も含め、質問や相談等がある場合には、自分で判断せず、できるだけ早く、基礎教育・教育企画室（教育学部棟1階渡り廊下・自動販売機横）に聞きに行くこと。